

# 大阪湾漁場環境速報

平成22年 1月15日発行  
兵庫のり研究所

湾奥部を中心にスケルトネマやキートセロス、ユーカンピアなど多種の珪藻が多く認められましたが、窒素は全域で十分量の値を示していました。週間予報(1/15 17:00 気象庁)によると、1/20頃まで晴れの日が続き、1/18以降、気温は平年より高めで推移する予想となっていますので、珪藻の増殖、栄養塩動向に注意が必要です。

(水温) 表層は湾内8~12℃台で、平均10.4℃。-10m層は平均10.5℃。

(塩分) 表層平均32.27psu(1月上旬 平年 32.03)。-10m層平均32.33psu(平年 32.37)。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均7.6μg-at/L、リン濃度は平均0.60μg-at/L。窒素は平年(12.6)より低く、リンはほぼ平年(0.67)並の値を示している。-10m層(平均)は、窒素7.5μg-at/L、リン0.61μg-at/L。水温が低い(8~9℃台) 海域を中心にスケルトネマやキートセロス、シュードニッチアなどの小型珪藻が認められ、特に湾奥部で発生量が多かった。また、同海域ではユーカンピアも認められた。一方、明石海峡~湾南部(10~12℃)では、珪藻は少なく、コシノディスカスが散見される程度であった。また、珪藻の発生

上段 (今回値)	平成22年 1月15日調査
中段 (昨年値)	平成21年 1月 8日調査
下段 (平年値)	1月上旬

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	燐酸 (μg-at/L)
04	11.9	32.74	7.2	0.69
	13.5	33.00	7.6	0.71
	12.7	32.76	8.8	0.67
05	10.0	32.29	5.9	0.57
	12.3	32.85	5.5	0.65
	11.6	32.30	9.7	0.69
06	10.2	32.40	6.0	0.64
	10.4	31.42	15.0	0.45
	11.6	32.20	9.1	0.64
07	10.3	32.35	6.4	0.64
	12.7	32.87	6.5	0.71
	11.9	32.32	8.7	0.65
08	11.6	32.63	7.2	0.70
	13.6	33.04	7.3	0.73
	12.7	32.63	8.6	0.66
09	12.0	32.74	7.2	0.68
	13.9	33.12	7.2	0.70
	12.8	32.63	8.4	0.65
010	10.3	32.37	7.3	0.69
	12.0	32.54	10.9	0.77
	11.6	32.19	10.3	0.63
012	9.6	32.02	6.7	0.49
	10.9	31.37	20.3	0.69
	10.9	31.50	17.1	0.63
013D	9.5	31.99	6.9	0.44
	11.0	31.24	22.4	0.69
	10.4	30.91	27.5	0.80
016	9.4	31.57	12.3	0.49
	10.4	29.68	30.1	0.79
	10.4	30.37	26.2	0.74
017D	8.1	30.70	18.8	0.46
	11.2	30.26	34.9	1.04
	10.3	29.81	50.1	1.21
018	8.4	30.86	17.7	0.47
	10.3	27.57	54.0	1.59
	10.2	28.25	64.9	2.05
S1	9.7	32.17	7.5	0.57
	10.8	31.35	14.9	0.52
	11.3	31.74	14.8	0.73
S2	9.2	31.57	11.2	0.43
	10.9	30.98	23.5	0.62
	10.7	31.02	22.2	0.75
S3	9.8	31.98	7.2	0.51
	10.8	31.91	14.8	0.70
	11.2	32.07	10.8	0.64
S4	11.7	32.70	7.3	0.66
	13.4	33.00	8.1	0.75
	12.5	32.67	9.1	0.68



